



新型コロナ禍中でも、上半期決算はガイダンスを上る 第2四半期に売上高は過去最高を記録し、営業利益率は9.2%に

サマリー

- 同社は、2月3日15時30分に上半期決算を発表し、2月5日には、佐藤邦光CEOと藤澤由裕経営企画室長によるバーチャル決算説明会を開催した。21年6月期上半期決算の概要は下表の通りである。第1四半期は約5%の減収減益になったものの、上半期では売上高、営業利益共にガイダンスを5%以上上回った。第2四半期の業績は大幅に伸び、売上高は第2四半期としては過去最高の29億4,900万円(前年同期比+15.7%)を記録した。営業利益は2億7,100万円(同+19.7%)、営業利益率は9.2%に達し、構造的な収益性向上に向けた取り組みが着実に成果を生んでいることを証明した。
- 第1四半期の不振はシステム開発プロジェクトの期ずれが要因だったが、第2四半期にそれを取り戻した。最大手顧客で親会社でもある大日本印刷(DNP)向けは予想通り減収となったが、これは当初からガイダンスに織り込み済みである。注目すべきは、利益率の高いクレジットカード発行会社向けのハードウェア交換を含むFEPシステムのアップグレードプロジェクトがこの減収分を相殺したことである。重点的に取り組んでいるクラウドサービス事業の売上げは、新規顧客の獲得もあって前年比+20%となった。
- 直近3か月間にTOPIXが13.1%上昇したのに対してIWIの株価は0.7%下落した。8月の好調な前通期決算発表後から11月上旬の冴えない第1四半期決算発表までの3か月間株価は低調に推移した。しかしそれ以降も同様にアンダーパフォームし、PERでは過去平均を19.8%下回る水準で取引されている。5月に発表される第3四半期決算に向けて増収増益が基調が続くとの蓋然性が維持できれば、第3四半期決算の発表に向けて短期的に反発する可能性もあると見ている。株価の長期的なけん引役は、クラウドサービス事業が損益分岐点を超えて黒字転換することと、セキュリティ事業の赤字解消による構造的な収益性の改善である。

IWI 2021年6月期上期 業績サマリー

百万円、%	1Q 6/21	2Q 6/21	1H 6/21	1H 6/21	増減金額 対予想比	増減率 対予想比
	実績	実績	実績	会社予想		
売上高	2,299	2,949	5,248	5,000	248	5.0
営業利益	134	271	406	380	26	6.7
経常利益	129	293	421	400	21	5.3
四半期純利益	84	202	286	280	6	2.0
対前年比	1Q 6/21	2Q 6/21	1H 6/21a	1H 6/21e		
売上高	(4.9)	15.7	5.7	0.7	—	—
営業利益	(4.8)	19.2	10.0	3.0	—	—
経常利益	(8.8)	33.5	17.0	11.1	—	—
四半期純利益	(8.3)	38.4	20.5	18.1	—	—

出所：同社決算短信よりSESSAパートナーズ作成。

2Q Follow-up



注目点：

ノンストップ（無停止型）、安全なオーソリセンター接続パッケージ向けのFEPシステム開発において、クレジットカード会社向けに圧倒的なシェアを誇るシステムインテグレーター

主要指標

株価 (2/9)	711
YH (20/8/6)	918
YL (20/3/23)	398
10YH (18/10/24)	1,180
10YL (12/11/9)	163.8
発行済株式数(百万株)	26.340
時価総額 (十億円)	18.73
EV (十億円)	14.99
自己資本比率	67.8%
21.6 P/E (CE)	22.8x
21.6 EV/EBITDA (CE)	8.0x
20.6 H1 P/B (act)	2.64x
20.6 ROE (act)	11.4%
21.6 DY (CE)	1.41%

株価チャート (週足)



出所：SPEEDA price database

アナリスト

クリス・シュレイパー CFA
research@sessapartners.co.jp



本レポートは株式会社インテリジェントウェーブからの委託を受けてSESSAパートナーズが作成しました。詳しくは巻末のディスクレームをご覧ください

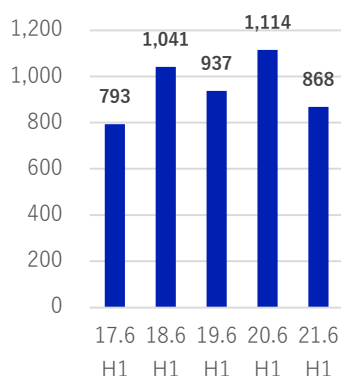
カテゴリ別売上高

百万円、%	ストック/ フロー	21.6 Q1 実績	増減 金額	21.6 Q2 実績	増減 金額	21.6 H1 実績	増減 金額	21.6 H2 会社予想	増減 金額	FY6/21 会社予想	増減 金額
売上高		2,298	(119)	2,949	399	5,247	280	5,753	(200)	11,000	80
・システム開発	フロー	1,113	(138)	1,324	1	2,437	(137)	2,925	(292)	5,362	(429)
・保守	ストック	315	14	332	27	647	41	637	(3)	1,284	38
・当社製品	フロー	144	47	65	(17)	209	30	188	123	397	153
・クラウドサービス	ストック	224	46	246	34	470	80	470	32	940	112
・ハードウェア	フロー	208	(145)	664	337	872	192	622	(224)	1,494	(32)
・他社製品	フロー	110	49	130	96	240	145	183	58	423	203
・セキュリティ対策製品	フロー	181	8	188	(79)	369	(71)	731	108	1,100	37
対前年比		21.6 Q1		21.6 Q2		21.6 H1		21.6 H2		FY6/21	
売上高		(4.9)	—	15.6	—	5.6	—	(3.4)	—	0.7	—
・システム開発	フロー	(11.0)	—	0.1	—	(5.3)	—	(9.1)	—	(7.4)	—
・保守	ストック	4.7	—	8.9	—	6.8	—	(0.5)	—	3.0	—
・当社製品	フロー	48.5	—	(20.7)	—	16.8	—	189.2	—	62.7	—
・クラウドサービス	ストック	25.8	—	16.0	—	20.5	—	7.3	—	13.5	—
・ハードウェア	フロー	(41.1)	—	103.1	—	28.2	—	(26.5)	—	(2.1)	—
・他社製品	フロー	80.3	—	282.4	—	152.6	—	46.4	—	92.3	—
・セキュリティ対策製品	フロー	4.6	—	(29.6)	—	(16.1)	—	17.3	—	3.5	—

第2四半期の受注が15%減少したことは気になるが、同社はそれを好調だった第1四半期(ハードウェアとクラウドサービスの受注がそれぞれ約7億円、2億円だった)の反動だと見ている。新型コロナウイルスの感染が拡大する厳しいマクロ環境にもかかわらず、特定の大手顧客の売上低迷をそれ以外の顧客で穴埋めしたことは注目に値する。受注残高は高水準を維持しており、かつ高利益率のシステム開発の受注残高は第2四半期も引き続き増加したことから、同社は第3四半期も増収増益が続くと見込んでいる。

DNP

DNP 上期売上高 (百万円)



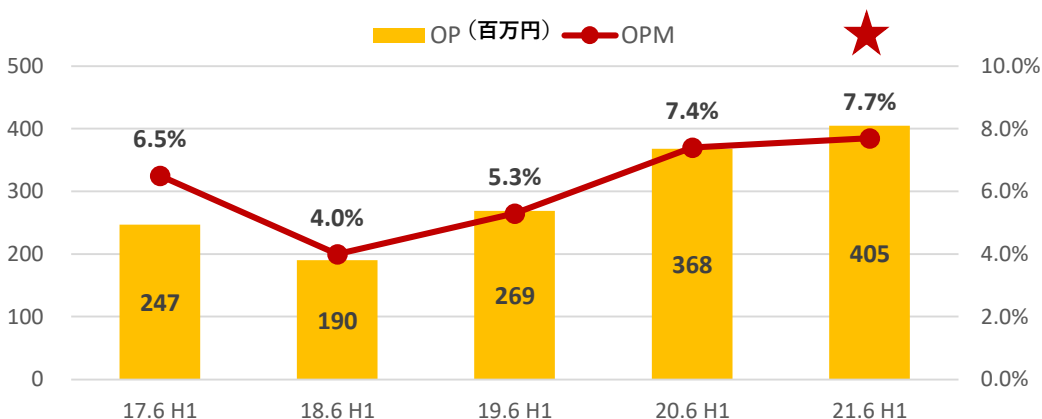
出所：同社IR資料より
SESSAパートナーズ作成

顧客別売上高 上位3社

百万円	20.6 H1	21.6 H1	増減	主な案件
1) DNP	1,114	868	(246)	TSP開発 (スマートフォン決済)、システム運用 (24/365)、決済PF
2) カード会社	236	662	426	FEP更改に係るシステム開発およびハードウェア
3) システム開発会社	124	551	427	通信事業者のクレジットサービス向けFEP、不正検知

出所：同社IR資料よりSESSAパートナーズ作成

直近5年間の上半期の営業利益および営業利益率のトレンド



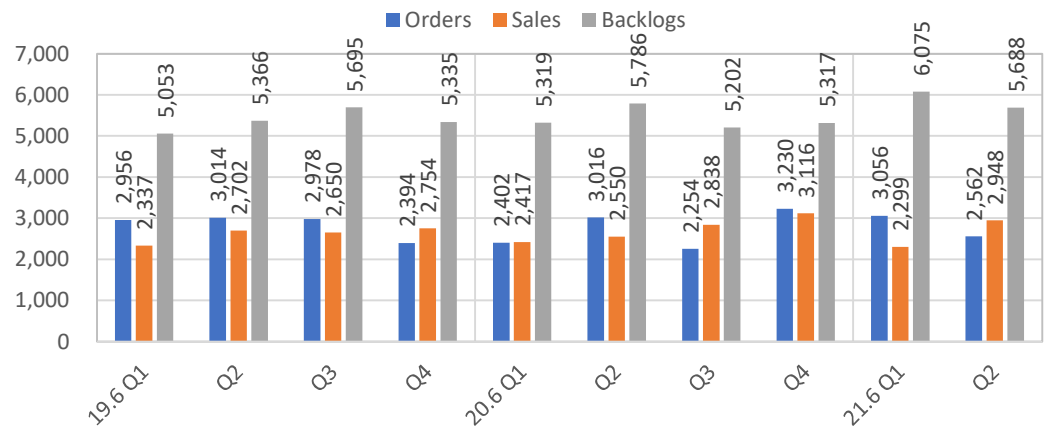
受注高、売上高および受注残高の四半期動向

百万円、%	受注高	YoY	売上高	YoY	受注残高	QoQ
19.6 Q1	2,956	6.7	2,337	0.6	5,053	14.0
Q2	3,014	28.5	2,702	14.0	5,366	6.2
Q3	2,978	21.6	2,650	(15.5)	5,695	6.1
Q4	2,394	(8.1)	2,754	(0.8)	5,335	(6.3)
20.6 Q1	2,402	(18.7)	2,417	3.4	5,319	(0.3)
Q2	3,016	0.1	2,550	(5.6)	5,786	8.8
Q3	2,254	(24.3)	2,838	7.1	5,202	(10.1)
Q4	3,230	34.9	3,116	13.1	5,317	2.2
21.6 Q1	3,056	27.2	2,299	(4.9)	6,075	14.3
Q2	2,562	(15.1)	2,948	15.6	5,688	(6.4)

出所：同社IR資料よりSESSAパートナーズ作成。

第2四半期の売上高は過去最高を記録

第1四半期に予定していたシステム開発プロジェクトのずれ込みと旺盛なハードウェア交換需要が第2四半期の増収に寄与し、過去5年で最高の2Q売上高を記録した。

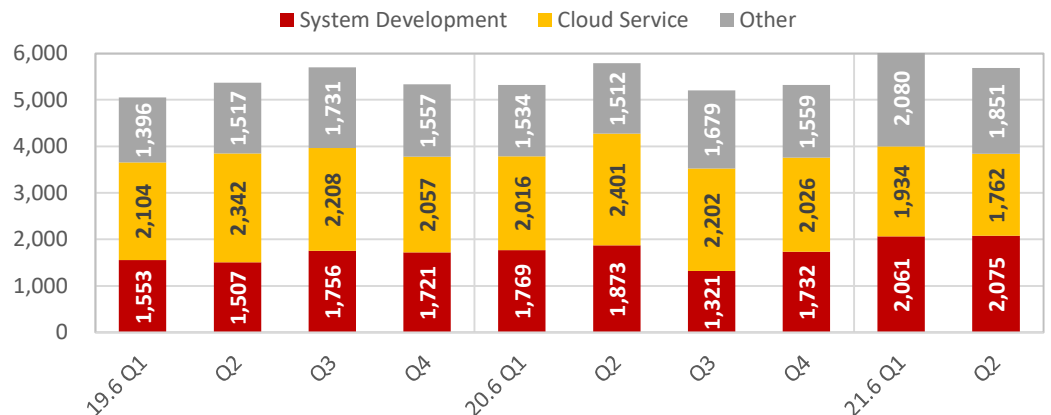


カテゴリ別受注残高の四半期動向

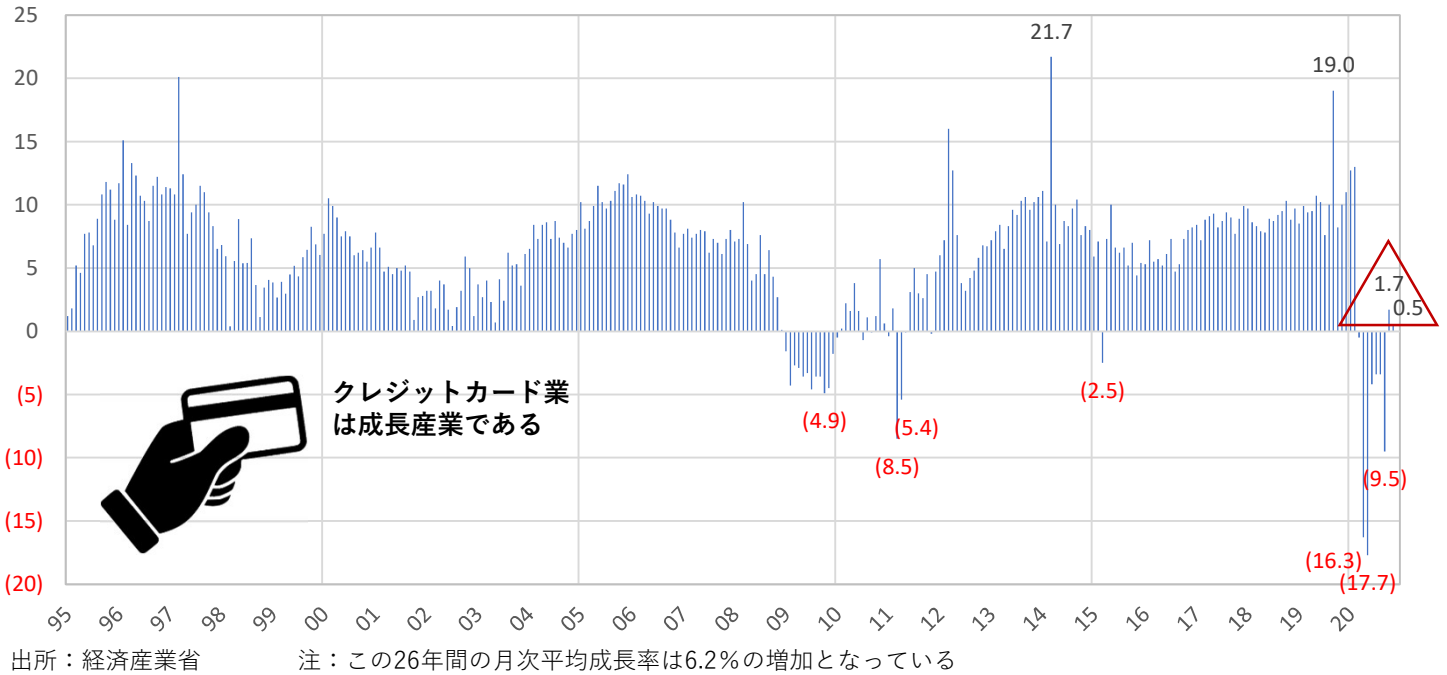
百万円、%	システム開発	QoQ	クラウドサービス	QoQ	その他	QoQ
19.6 Q1	1,553	0.3	2,104	30.3	1,396	9.8
Q2	1,507	(3.0)	2,342	11.3	1,517	8.7
Q3	1,756	16.5	2,208	(5.7)	1,731	14.1
Q4	1,721	(2.0)	2,057	(6.8)	1,557	(10.1)
20.6 Q1	1,769	2.8	2,016	(2.0)	1,534	(1.5)
Q2	1,873	5.9	2,401	19.1	1,512	(1.4)
Q3	1,321	(29.5)	2,202	(8.3)	1,679	11.0
Q4	1,732	31.1	2,026	(8.0)	1,559	(7.1)
21.6 Q1	2,061	19.0	1,934	(4.5)	2,080	33.4
Q2	2,075	0.7	1,762	(8.9)	1,851	(11.0)

出所：同社IR資料よりSESSAパートナーズ作成。

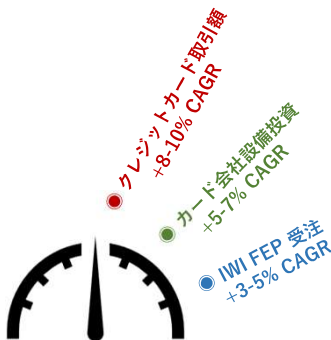
利益率が高いシステム開発事業の受注残高の増加傾向は今も続いている。



特定サービス産業動態統計調査：クレジットカード業取扱高総計の月次動向（対前年比）



クレジットカード業
は成長産業である



成長見通し：
FEP受注の主な原動力は
クレジットカード会社の
設備投資である

出所：同社IR資料。注：成長率はSESSAパートナーズ予想



FEP (フロントエンド
ロッシング): 承認セン
ター接続パッケージ向け
クレジットカードオンプレ
ミスインフラ設備

DNPはIWIの親会社(持ち株比率：50.6%)であり、かつ年間総売上高(100億～110億円)のうちの約20億円を占める最大手顧客でもある。**DNPの業績は経済活動全般に大きく左右され、同社を取り巻く現在の厳しい収益環境が投資家にとっての懸念材料である。**

IWIは金融システムに重点を置くシステムインテグレータ(SI)セクターに属している。同社はクレジットカード会社向けFEP (フロントエンドプロセッサ)システムの開発に特化しており、特に認証センター接続パッケージ(システムソフトウェア開発+ハードウェア)形式によるオンプレミス型(自社運用)インフラストラクチャーを得意とする。SESSAパートナーズは、IWIが同市場で70～80%の圧倒的シェアを占めていると推測しているが、消費者需要がEコマースへシフトしていることに加えて、政府のキャッシュレス決済促進政策もあり、クレジットカード会社は構造的な高成長期にある。

左記のイラストで表した通り、FEPの主なけん引役はクレジットカード会社の設備投資である。上記のグラフは、前年比で見た月間のクレジットカード決済総額の推移を示している。過去25年間と2020年1月～11月の全期間における平均成長率は+6～7%であるが、直近5年間では+8～10%に達した。2019年以前でマイナスを記録したのは、2009年の金融危機時、東日本大震災の発生した2011年3月とその翌月の4月、2014年4月の消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動が出た2015年3月の3回だけだった。ところが、2020年には外出自粛要請が出ていた4月と5月に10%台後半のマイナスを記録し、6月～8月も3～4%のマイナスが続いた。2020年9月の9.5%のマイナスは、2019年10月の消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動である。テレワークへのシフトと在宅時間の増加によりEコマース市場が拡大する一方で、外出や移動が制限される中で飲食店の利用が急減し、ホテルの稼働率も大きく低下している。**厳しい環境を受けて、クレジットカード会社が現行の設備投資計画を縮小、もしくは棚上げするかどうかがもう一つの懸念材料である。しかしIWIによればそのような兆候は見られないという。**

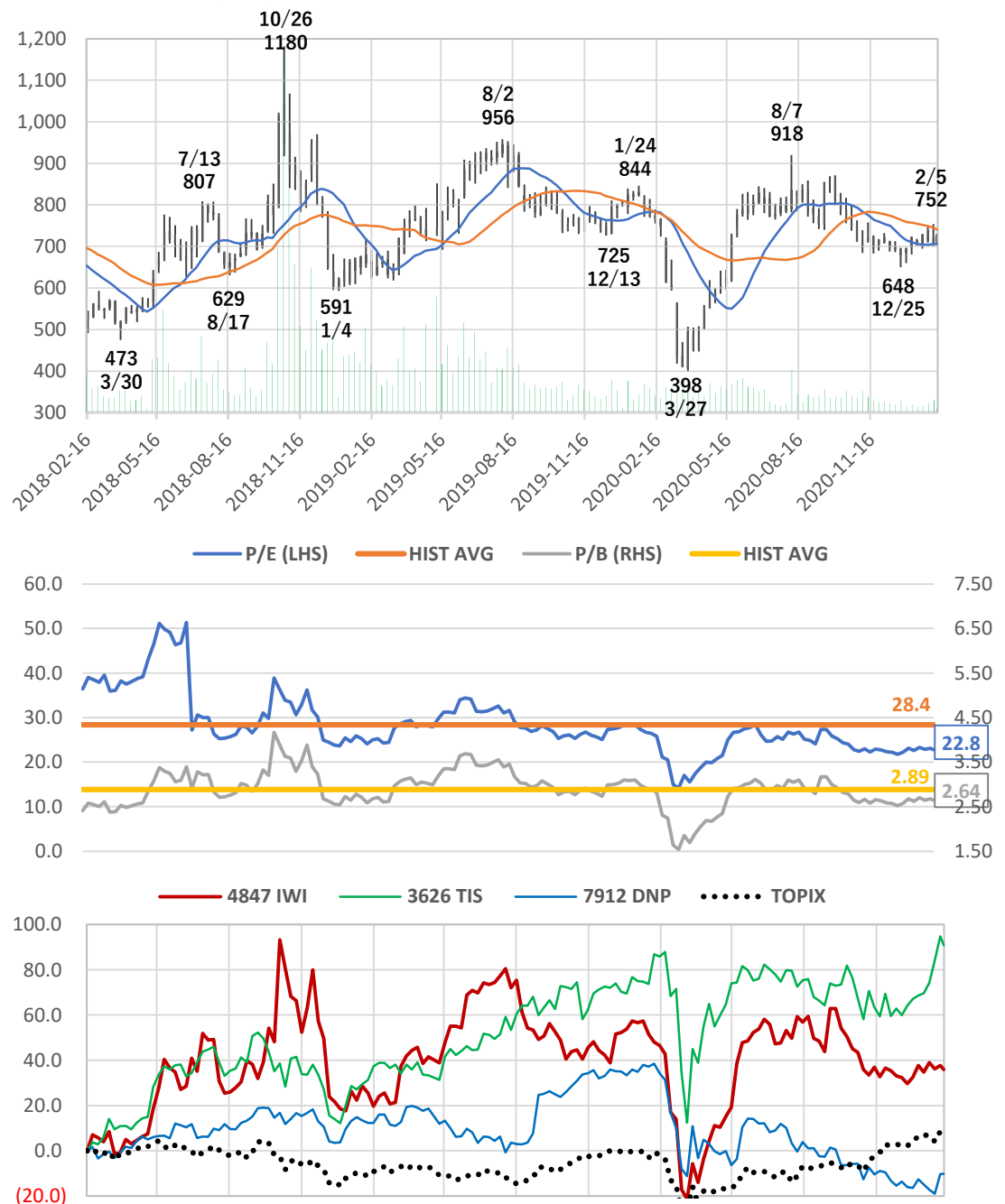


SESSA スマートチャート

株価トレンド、バリュエーションと相対パフォーマンス

- 1) 直近3か月間の上昇率は、TOPIXが+13.1%、競合するTIS(銘柄コード：3626)が+16.8%だったのに対して、IWIは-0.7%となり、株価が下げ止まった親会社のDNP(上昇率：+0.3%)さえもアンダーパフォームした。また、8月の好調な前期第4四半期決算発表後から11月の第1四半期の減収減益決算発表までの間の3か月間もアンダーパフォームしている。
- 2) IWIは直近3年間のバリュエーションの平均を下回る水準で取引されており、PERは3年間の平均を19.8%下回る22.8倍、上半期のPBRは同じく過去3年平均を8.5%下回る2.64倍になっている。
- 3) **同社の見通しや5月に発表される第3四半期決算でも増収増益が続くとの予想に基づけば、第3四半期決算の発表に向けて短期的に反発する可能性もあると見ている。**

3年間の株価推移(週足)、ヒストリカルPER/PBRならびに相対パフォーマンス



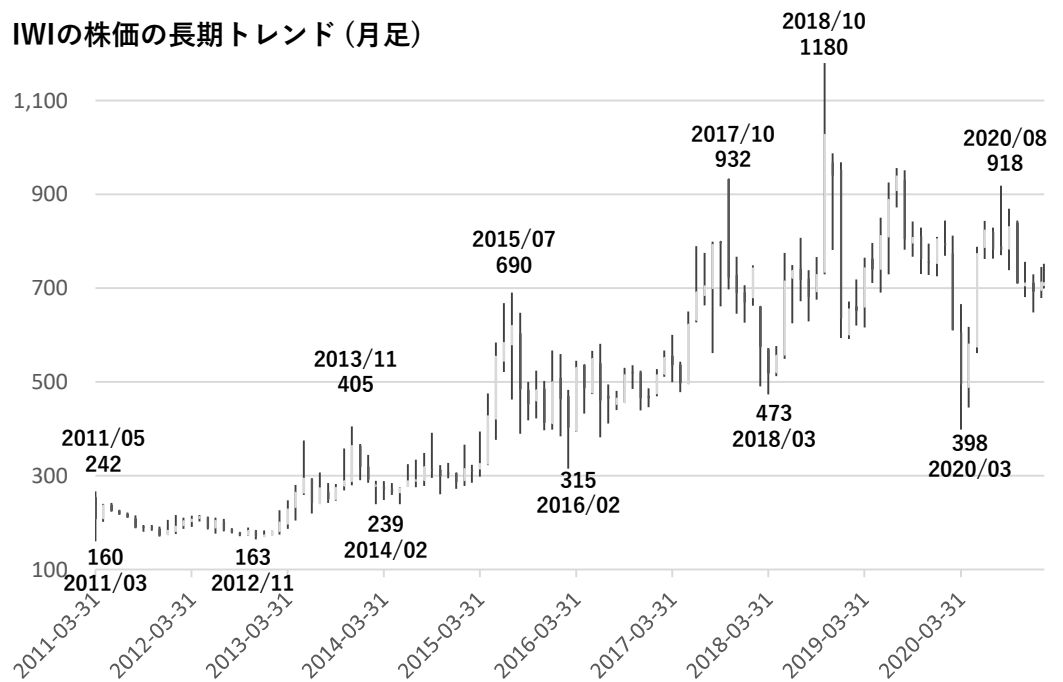


アナリストの見方

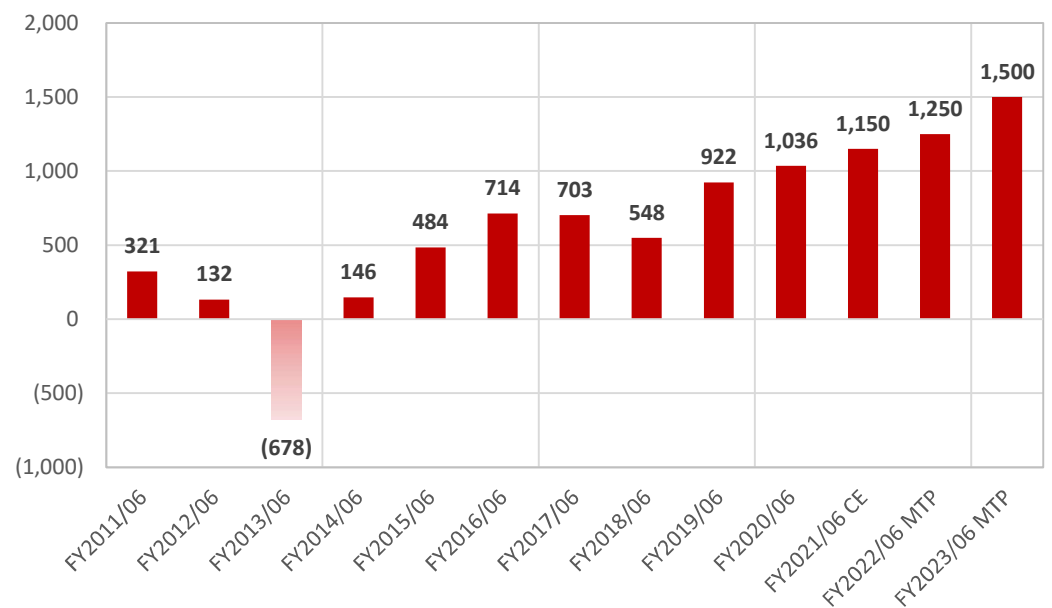
構造的な収益性の向上が株価上昇のけん引役

- 1) 顧客の設備投資はマクロ経済に左右されることから、システムインテグレーション事業の受注高がある程度変動するのは致し方ない。同社はその影響を軽減するために、クラウドサービス事業のストック収益モデルへの切り替えを重点的に取り組んでいる。同事業は、立ち上げ費用の負担がなくなり、売上げが損益分岐点を超えることで黒字転換する方向に向かっている。
- 2) セキュリティ事業関連の赤字の解消がもう一つのけん引役になるだろう。低い利益率は、導入前の製品説明等の先行費用が一因である。経営陣はこの分野での提携パートナーやアウトソーシング先の開拓に尽力している。

IWIの株価の長期トレンド(月足)



IWIの営業利益の長期トレンド(百万円)



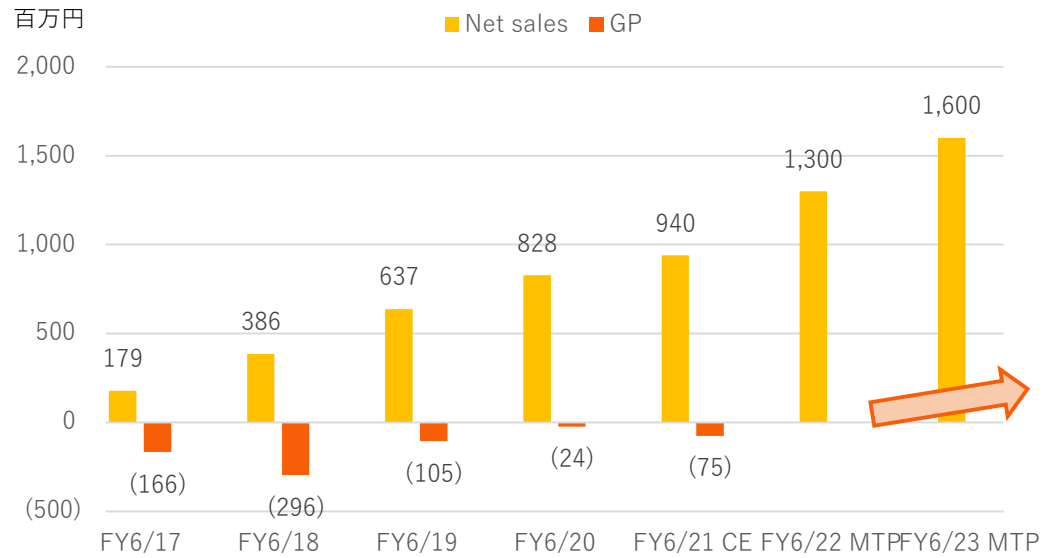
出所: SPEEDA 利益データベースよりSESSAパートナーズが作成。
注: 同社IR資料、中期経営計画予想

クラウドサービス

全国銀行協会によれば、2019年12月現在、地方銀行は64、第二地銀が39あり、合計で103の地方銀行がある。IWIはこれら地銀・第二地銀がクレジットカード発行業務を始めるポテンシャルがあると見ている。同社のIOASISクラウドサービスはクラウドベースで加盟店獲得を支援する唯一のサービスである。

メガバンクと比べて規模の小さい銀行にとって先行投資となるFEPスイッチングシステムの導入は大きな障害である。IWIの開発したNet+1とAcePlusを経由し同社のクラウドサービスを利用すれば、運営費、保守費用をリソース化し先行投資負担を軽減することができる。そしてIWIは一定の固定費で安定且つスケラブルな収入を得ることができる。

重点的取り組み: クラウドサービスによるストック収益モデルへのシフト



出所：決算説明資料より SESSAパートナーズ作成

21年6月期: 先行投資により費用は増加したが、3件の新規顧客の獲得が見込まれる

		20年6月期		21年6月期			
		通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
売上高	計画		224	235	235	246	940
	実績	828	224	246			
売上総利益	計画		△14	△10	△29	△22	△75
	実績	△24	△37	△12			

	IPRETS	IGATES	IFINDS	IOASIS
導入社数	0	2	3	5
20年6月期	0	2	3	5
21年6月期	1	4	3	5



クラウドサービス機能

IOASIS: 加盟店獲得

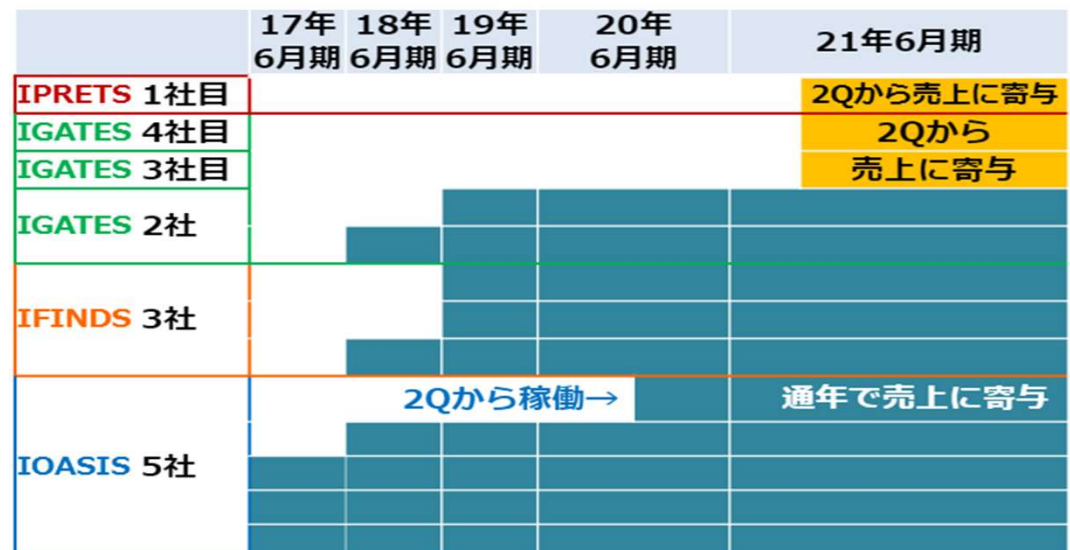
IFINDS: 不正検知

IGATES: スwitching, ゲートウェイ

IPRETS: ポイント還元システム



地方銀行 (およそ100行)



IPRETS (ポイントシステム) は10月より稼働開始 出所：決算説明資料より SESSAパートナーズ作成

IWIの季節性分析

[日本基準] 百万円、%	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1H	2H	FY	1H	2H	FY
	収益				進捗率				収益			進捗率		
FY6/16 売上高	1,331	1,665	1,891	2,320	18.5%	23.1%	26.2%	32.2%	2,996	4,211	7,207	41.6%	58.4%	100.0%
連結														
営業利益	34	169	227	284	4.8%	23.7%	31.8%	39.8%	203	511	714	28.4%	71.6%	100.0%
経常利益	41	175	230	285	5.6%	23.9%	31.5%	39.0%	216	515	731	29.5%	70.5%	100.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	34	112	141	192	7.1%	23.4%	29.4%	40.1%	146	333	479	30.5%	69.5%	100.0%
FY6/17 売上高	1,654	2,139	2,264	2,413	19.5%	25.3%	26.7%	28.5%	3,793	4,677	8,470	44.8%	55.2%	100.0%
非連結														
営業利益	38	210	275	180	5.4%	29.9%	39.1%	25.6%	248	455	703	35.3%	64.7%	100.0%
経常利益	37	238	289	202	4.8%	31.1%	37.7%	26.4%	275	491	766	35.9%	64.1%	100.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	20	172	214	141	3.7%	31.4%	39.1%	25.8%	192	355	547	35.1%	64.9%	100.0%
FY6/18 売上高	2,322	2,371	3,136	2,775	21.9%	22.4%	29.6%	26.2%	4,693	5,911	10,604	44.3%	55.7%	100.0%
非連結														
営業利益	129	61	177	181	23.5%	11.1%	32.3%	33.0%	190	358	548	34.7%	65.3%	100.0%
経常利益	128	69	176	201	22.3%	12.0%	30.7%	35.0%	197	377	574	34.3%	65.7%	100.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	83	46	109	139	22.0%	12.2%	28.9%	36.9%	129	248	377	34.2%	65.8%	100.0%
FY6/19 売上高	2,337	2,702	2,650	2,754	22.4%	25.9%	25.4%	26.4%	5,039	5,404	10,443	48.3%	51.7%	100.0%
非連結														
営業利益	71	198	407	246	7.7%	21.5%	44.1%	26.7%	269	653	922	29.2%	70.8%	100.0%
経常利益	79	203	406	266	8.3%	21.3%	42.6%	27.9%	282	672	954	29.6%	70.4%	100.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	48	157	262	217	7.0%	23.0%	38.3%	31.7%	205	479	684	30.0%	70.0%	100.0%
FY6/20 売上高	2,417	2,550	2,838	3,116	22.1%	23.3%	26.0%	28.5%	4,967	5,954	10,921	45.5%	54.5%	100.0%
非連結														
営業利益	141	228	217	450	13.6%	22.0%	20.9%	43.4%	369	667	1,036	35.6%	64.4%	100.0%
経常利益	141	219	241	474	13.1%	20.4%	22.4%	44.1%	360	715	1,075	33.5%	66.5%	100.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	91	146	161	364	11.9%	19.2%	21.1%	47.8%	237	525	762	31.1%	68.9%	100.0%
5Y AVG 売上高	2,012	2,285	2,556	2,676	21.1%	24.0%	26.8%	28.1%	4,298	5,231	9,529	45.1%	54.9%	100.0%
営業利益	83	173	261	268	10.5%	22.1%	33.2%	34.2%	256	529	785	32.6%	67.4%	100.0%
経常利益	85	181	268	286	10.4%	22.0%	32.7%	34.8%	266	554	820	32.4%	67.6%	100.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	55	127	177	211	9.7%	22.2%	31.1%	37.0%	182	388	570	31.9%	68.1%	100.0%
									CE	CE		CE	CE	
FY6/21 売上高	2,299	2,949	—	—	20.9%	26.8%	—	—	5,248	5,752	11,000	47.7%	52.3%	100.0%
非連結														
営業利益	134	272	—	—	11.7%	23.7%	—	—	406	744	1,150	35.3%	64.7%	100.0%
経常利益	129	292	—	—	10.8%	24.5%	—	—	421	769	1,190	35.4%	64.6%	100.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	84	202	—	—	10.2%	24.6%	—	—	286	534	820	34.9%	65.1%	100.0%

過去5年間の収益と現在の比較分析

◆ 季節性(上記進捗率)

- 第1四半期の実績は5年間の平均とほぼ同じだったが、第2四半期は売上高、利益共に平均を上回った。
- 上半期の好業績は、前期第4四半期と今期第1四半期の好調な受注のおかげである。

◆ 前年比で見たトレンド(次ページ上段)

- 第1四半期の減収減益は、開発プロジェクトの遅れが一因である。
- 第2四半期の大幅な伸びにより、強気な下半期ガイダンス達成の可能性が高まっている。

◆ 利益率(次ページ下段)

- 第2四半期に過去最高の売上高を記録した主な要因は、旺盛なハードウェア交換需要である。
- ハードウェアは利益率が高いことから、第2四半期の営業率は9.2%に達した。

21年6月期上半期決算のまとめ:

- 同社は、第3四半期の見通しも良好であり、増収増益が続くと見込んでいる。(第3四半期決算は5月に発表予定)
- しかし、12.9%の営業利益率目標を掲げる下半期ガイダンスはハードルが高いことから、下半期も予想以上の好業績になると期待するのは時期尚早であり、まだ予想が難しい第4四半期売上高の見通し見極めるほうが良いだろう。

IWIの収益の前年比で見たトレンド分析

[日本基準] 百万円、%	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1H	2H	FY	1H	2H	FY
	収益				前年同期比トレンド				収益			前年同期比トレンド		
FY6/16 売上高	1,331	1,665	1,891	2,320	(6.7)	17.3	29.8	24.9	2,996	4,211	7,207	5.3	27.0	17.0
連結 営業利益	34	169	227	284	(64.2)	89.9	129.3	41.3	203	511	714	10.3	70.3	47.5
経常利益	41	175	230	285	(55.4)	90.2	109.1	45.4	216	515	731	17.4	68.3	49.2
親会社株主に帰属する当期純利益	34	112	141	192	(44.3)	(39.1)	220.5	5.5	146	333	479	(40.4)	47.3	1.7
FY6/17 売上高	1,654	2,139	2,264	2,413	24.3	28.5	19.7	4.0	3,793	4,677	8,470	26.6	11.1	17.5
非連結 営業利益	38	210	275	180	11.8	24.3	21.1	(36.6)	248	455	703	22.2	(11.0)	(1.5)
経常利益	37	238	289	202	(9.8)	36.0	25.7	(29.1)	275	491	766	27.3	(4.7)	4.8
親会社株主に帰属する当期純利益	20	172	214	141	(41.2)	53.6	51.8	(26.6)	192	355	547	31.5	6.6	14.2
FY6/18 売上高	2,322	2,371	3,136	2,775	40.4	10.8	38.5	15.0	4,693	5,911	10,604	23.7	26.4	25.2
非連結 営業利益	129	61	177	181	239.5	(71.0)	(35.6)	0.6	190	358	548	(23.4)	(21.3)	(22.0)
経常利益	128	69	176	201	245.9	(71.0)	(39.1)	(0.5)	197	377	574	(28.4)	(23.2)	(25.1)
親会社株主に帰属する当期純利益	83	46	109	139	315.0	(73.3)	(49.1)	(1.4)	129	248	377	(32.8)	(30.1)	(31.1)
FY6/19 売上高	2,337	2,702	2,650	2,754	0.6	14.0	(15.5)	(0.8)	5,039	5,404	10,443	7.4	(8.6)	(1.5)
非連結 営業利益	71	198	407	246	(45.0)	224.6	129.9	35.9	269	653	922	41.6	82.4	68.2
経常利益	79	203	406	266	(38.3)	194.2	130.7	32.3	282	672	954	43.1	78.2	66.2
親会社株主に帰属する当期純利益	48	157	262	217	(42.2)	241.3	140.4	56.1	205	479	684	58.9	93.1	81.4
FY6/20 売上高	2,417	2,550	2,838	3,116	3.4	(5.6)	7.1	13.1	4,967	5,954	10,921	(1.4)	10.2	4.6
非連結 営業利益	141	228	217	450	98.6	15.2	(46.7)	82.9	369	667	1,036	37.2	2.1	12.4
経常利益	141	219	241	474	78.5	7.9	(40.6)	78.2	360	715	1,075	27.7	6.4	12.7
親会社株主に帰属する当期純利益	91	146	161	364	89.6	(7.0)	(38.5)	67.7	237	525	762	15.6	9.6	11.4
										CE	CE		CE	CE
FY6/21 売上高	2,299	2,949	—	—	(4.9)	15.6	—	—	5,248	5,752	11,000	5.7	(3.4)	0.7
非連結 営業利益	134	272	—	—	(5.0)	19.3	—	—	406	744	1,150	10.0	11.5	11.0
経常利益	129	292	—	—	(8.5)	33.3	—	—	421	769	1,190	16.9	7.6	10.7
親会社株主に帰属する当期純利益	84	202	—	—	(7.7)	38.4	—	—	286	534	820	20.7	1.7	7.6

IWIの利益率分析

[日本基準] 百万円、%	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1H	2H	FY	1H	2H	FY
	収益				マージン				収益			マージン		
FY6/16 売上総利益	332	477	556	628	24.9%	28.6%	29.4%	27.1%	809	1,184	1,993	27.0%	28.1%	27.7%
連結 SG&A	297	309	329	344	22.3%	18.6%	17.4%	14.8%	606	673	1,279	20.2%	16.0%	17.7%
EBITDA	84	212	280	352	6.3%	12.7%	14.8%	15.2%	296	632	928	9.9%	15.0%	12.9%
営業利益	34	169	227	284	2.6%	10.2%	12.0%	12.2%	203	511	714	6.8%	12.1%	9.9%
FY6/17 売上総利益	342	572	656	562	20.7%	26.7%	29.0%	23.3%	914	1,218	2,132	24.1%	26.0%	25.2%
非連結 SG&A	304	362	381	383	18.4%	16.9%	16.8%	15.9%	666	764	1,430	17.6%	16.3%	16.9%
EBITDA	93	295	372	280	5.6%	13.8%	16.4%	11.6%	388	652	1,040	10.2%	13.9%	12.3%
営業利益	38	210	275	180	2.3%	9.8%	12.1%	7.5%	248	455	703	6.5%	9.7%	8.3%
FY6/18 売上総利益	551	472	564	636	23.7%	19.9%	18.0%	22.9%	1,023	1,200	2,223	21.8%	20.3%	21.0%
非連結 SG&A	422	411	387	455	18.2%	17.3%	12.3%	16.4%	833	842	1,675	17.7%	14.2%	15.8%
EBITDA	238	177	296	322	10.2%	7.5%	9.4%	11.6%	415	618	1,033	8.8%	10.5%	9.7%
営業利益	129	61	177	181	5.6%	2.6%	5.6%	6.5%	190	358	548	4.0%	6.1%	5.2%
FY6/19 売上総利益	526	672	884	725	22.5%	24.9%	33.4%	26.3%	1,198	1,609	2,807	23.8%	29.8%	26.9%
非連結 SG&A	455	474	478	478	19.5%	17.5%	18.0%	17.4%	929	956	1,885	18.4%	17.7%	18.1%
EBITDA	196	347	642	445	8.4%	12.8%	24.2%	16.2%	543	1,087	1,630	10.8%	20.1%	15.6%
営業利益	71	198	407	246	3.0%	7.3%	15.4%	8.9%	269	653	922	5.3%	12.1%	8.8%
FY6/20 売上総利益	622	712	689	958	25.7%	27.9%	24.3%	30.7%	1,334	1,647	2,981	26.9%	27.7%	27.3%
非連結 SG&A	480	485	472	507	19.9%	19.0%	16.6%	16.3%	965	979	1,944	19.4%	16.4%	17.8%
EBITDA	286	375	364	617	11.8%	14.7%	12.8%	19.8%	661	981	1,642	13.3%	16.5%	15.0%
営業利益	141	228	217	450	5.8%	8.9%	7.6%	14.4%	369	667	1,036	7.4%	11.2%	9.5%
5年平均 売上総利益	475	581	670	702	23.6%	25.4%	26.2%	26.2%	1,056	1,372	2,427	24.6%	26.2%	25.5%
SG&A	392	408	409	433	19.5%	17.9%	16.0%	16.2%	800	843	1,643	18.6%	16.1%	17.2%
EBITDA	179	281	391	403	8.9%	12.3%	15.3%	15.1%	461	794	1,255	10.7%	15.2%	13.2%
営業利益	83	173	261	268	4.1%	7.6%	10.2%	10.0%	256	529	785	6.0%	10.1%	8.2%
										CE	CE		CE	CE
FY6/21 売上総利益	589	801	—	—	25.6%	27.2%	—	—	1,390	—	—	26.5%	—	—
非連結 SG&A	455	529	—	—	19.8%	17.9%	—	—	984	—	—	22.9%	—	—
EBITDA	316	448	—	—	13.7%	15.2%	—	—	764	—	—	14.6%	—	—
営業利益	134	272	—	—	5.8%	9.2%	—	—	406	744	1,150	7.7%	12.9%	10.5%

四半期貸借対照表

	前事業年度 (2020年6月30日)	(単位：千円) 当第2四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,641,864	3,741,171
受取手形及び売掛金	1,720,318	1,586,894
たな卸資産	413,482	522,183
その他	605,574	606,216
流動資産合計	6,381,239	6,456,466
固定資産		
有形固定資産	537,972	508,757
無形固定資産		
ソフトウェア	1,262,416	1,218,995
その他	202,895	100,260
無形固定資産合計	1,465,312	1,319,255
投資その他の資産		
投資有価証券	1,359,193	1,457,124
その他	808,293	689,133
投資その他の資産合計	2,167,487	2,146,257
固定資産合計	4,170,771	3,974,270
資産合計	10,552,011	10,430,736
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	627,020	623,767
未払い法人税等	61,971	114,692
前受け金	1,381,890	1,138,462
賞与引当金	295,182	265,388
役員賞与引当金	42,682	17,173
その他	541,881	566,058
流動負債合計	2,950,627	2,725,543
固定負債		
退職給付引当金	490,430	518,348
役員退職慰労引当金	30,052	20,250
資産除去債務	87,421	87,454
その他	10,010	5,720
固定負債合計	617,914	631,773
負債合計	3,568,542	3,357,317
純資産の部		
株主資本		
資本金	843,750	843,750
資本剰余金	573,099	573,099
利益剰余金	5,043,372	5,066,017
自己株式	(26,712)	(26,712)
株主資本合計	6,433,508	6,456,153
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	549,960	617,265
評価・換算差額等合計	549,960	617,265
純資産合計	6,983,469	7,073,419
負債純資産合計	10,552,011	10,430,736

四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年7月1日 至2019年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自2020年7月1日 至2020年12月31日)
売上高	4,967,041	5,247,940
売上原価	3,633,129	3,858,124
売上総利益	1,333,911	1,389,816
販売費及び一般管理費	965,130	984,228
営業利益	368,781	405,587
営業外収益		
受取利息	305	344
受取配当金	20,735	20,887
その他	2,366	3,805
営業外収益合計	23,408	25,036
営業外費用		
支払利息	55	21
コミットメントフィー	2,113	2,758
支払補償費	29,618	5,000
その他	348	1,744
営業外費用合計	32,135	9,524
経常利益	360,053	421,100
特別利益	-	-
特別損失	-	-
税引前四半期純利益	360,053	421,100
法人税、住民税及び事業税	65,785	92,125
法人税等調整額	57,161	43,345
法人税等合計	122,947	135,471
四半期純利益	237,106	285,628

四半期キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期累計期間 (自2019年7月1日 至2019年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自2020年7月1日 至2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	360,053	421,100
減価償却費	291,632	357,515
株式報酬費用	24,282	38,787
賞与引当金の増減額 ()は減少	(46,380)	(29,794)
役員賞与引当金の増減額 ()は減少	(25,005)	(25,508)
退職給付引当金の増減額 ()は減少	22,868	27,918
役員退職慰労引当金の増減額 ()は減少	3,057	(9,802)
受取利息及び受取配当金	(21,041)	(21,231)
支払利息	55	21
支払補償費	29,618	5,000
コミットメントフィー	2,113	2,758
売上債権の増減額 ()は増加	(85,257)	(110,002)
たな卸資産の増減額 ()は増加	(206,849)	(108,700)
仕入債務の増減額 ()は減少	100,471	(11,150)
その他	(100,209)	60,782
小計	349,408	597,692
利息及び配当金の受取額	21,099	21,226
利息の支払額	(47)	(19)
コミットメントフィーの支払額	(2,215)	(2,443)
法人税等の支払額	(329,871)	(41,726)
営業活動によるキャッシュ・フロー	38,373	574,730
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	(119,233)	(29,044)
無形固定資産の取得による支出	(295,949)	(164,866)
投資有価証券の取得による支出	(1,043)	(1,218)
その他	10,450	(384)
投資活動によるキャッシュ・フロー	(405,776)	(195,513)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	(17,781)	(16,704)
自己株式の取得による支出	(136,100)	-
配当金の支払額	(235,921)	(262,209)
財務活動によるキャッシュ・フロー	(389,803)	(278,914)
現金及び現金同等物に係る換算差額	414	(994)
現金及び現金同等物の増減額 ()は減少	(756,791)	99,307
現金及び現金同等物の期首残高	3,254,913	3,641,864
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,498,122	3,741,171

LEGAL DISCLAIMER

ディスクレイマー／免責事項

本レポートは対象企業についての情報を提供することを目的としており投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載されたデータ・情報は弊社が信頼できると判断したものです。その信憑性、正確性等について一切保証するものではありません。

本レポートは当該企業からの委託に基づきSESSAパートナーズが作成し、対価として報酬を得ています。SESSAパートナーズの役員・従業員は当該企業の発行する有価証券について売買等の取引を行っているか、または将来行う可能性があります。そのため当レポートに記載された予想や情報は客観性を伴わないことがあります。本レポートの使用に基づいた商取引からの損失についてSESSAパートナーズは一切の責任を負いません。当レポートの著作権はSESSAパートナーズに帰属します。当レポートを修正・加工したり複製物の配布・転送は著作権の侵害に該当し固く禁じられています。



SESSAパートナーズ株式会社

東京都渋谷区広尾5-3-18
info@sessapartners.co.jp